

エコアクション21

2020年度 環境経営レポート



活動期間
2020年7月～2021年6月(13版)

発行日：2021年11月30日

久保田建装株式会社

1. 組織の概要

1-1. 事業の概要

(1)法人名及び代表者	
久保田建装株式会社 代表取締役社長 大石 剛	
(2)事業の種類	
建設業(塗装工事を主とした専門工事業)	
国土交通大臣許可(特-29)第2178号----塗装、建築一式	
〃	(般-29)第2178号----土木、大工、左官、とび・土工、屋根、
〃	----ほ装、板金、ガラス、防水、内装、建具
〃	----石、タイル・れんが・ブロック
(3)事業所の所在地	
本社	東京都世田谷区瀬田5-3-6 TEL03-3707-2585 FAX03-3707-2039 メールアドレス tokyo@kubotakenso.com
本店	静岡市駿河区西脇342-1 TEL(代表)054-202-2722 FAX054-202-2725 メールアドレス m.r-kubotakenso@ny.tokai.or.jp
浜松支店	浜松市東区上新屋町139-1 TEL053-464-4378 FAX053-463-4660 メールアドレス kuboken-hamamatsu@nifty.com
名古屋支店	名古屋市名東区極楽4-1205 TEL052-703-5220 FAX052-704-5619 メールアドレス kuboken-nagoya@hkg.odn.ne.jp
沼津支店	沼津市岡宮1330-4 TEL055-924-5254 FAX055-924-5074 メールアドレス kuboken-numazu@ny.tokai.or.jp
沖縄出張所	沖縄県宜野湾市真志喜 1-11-10 TEL098-890-0285 FAX098-890-0287
(4)環境管理の責任者	
環境管理責任者	牧野 晃(労務・安全管理推進室長)
エコ21サポート役	山田 稔(総務部長)
事業所責任者	各支店長
(5)連絡担当者	
環境管理責任者	牧野 晃(労務・安全管理推進室長) TEL054-202-2766 FAX054-202-2725 メールアドレス m.r-kubotakenso@ny.tokai.or.jp
(6)有資格者	
土木施工管理技士(1級2名、2級13名) 建築施工管理技士(1級2名、2級10名) 監理技術者9名 有機溶剤作業主任者 28名 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 21名 その他有資格者多数	

2021年9月24日
久保田建装株式会社 環境管理責任者

1-2 事業の規模

活動規模	単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	(基準年度) 2019年	2020年
売上高	百万円	2,708	2,907	2,788	3,043	3,052	3,239	3,052	2,651
総職員数	人	42	44	45	44	44	41	43	44
床面積 本 社	m2	99	99	99	99	99	99	99	99
本 店	〃	425	425	425	425	425	425	425	425
浜松支店	〃	273	273	273	273	273	273	273	273
名古屋支店	〃	181	181	181	181	181	181	181	181
沼津支店	〃	231	231	231	231	231	231	231	231
合 計	〃	1,209	1,209	1,209	1,209	1,209	1,209	1,209	1,209
工事件数	件	1,388	1,198	1,180	1,209	1,169	1,253	1,228	1,164
自動車保有台数	台	35	36	35	33	34	31	32	34

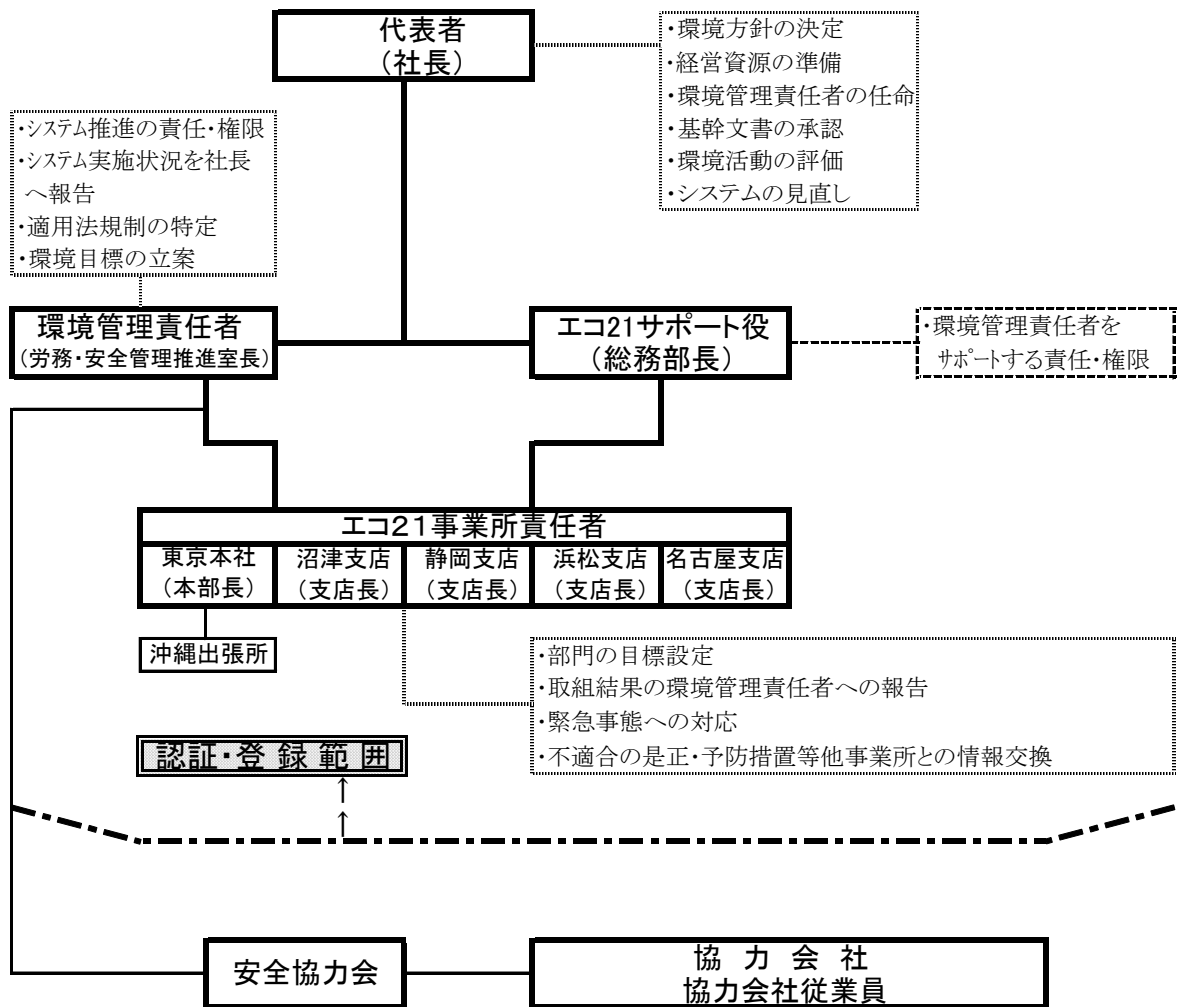
2021年9月24日

久保田建装株式会社 環境管理責任者

2.対象範囲(認証・登録範囲)

エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するため、下記の組織で臨みますので、各自の役割・責任を自覚し、全員の力で結果を出していきたいと思っております。なお、協力会社等にも必要な協力をお願いすることもありますので、その点も留意しておいてください。

エコアクション21実施・運用組織図



2021年9月24日
久保田建装株式会社 環境管理責任者

3. 環境経営方針

【環境理念】

大量の化石燃料の消費やゴミの焼却等から発生するCO₂(温室効果ガス)による地球温暖化は、海面上昇による陸地の水没や多くの動植物の絶滅等極めて憂慮すべき状態を引き起こしており、人類の英知をもってこれを食い止めなければならない深刻な問題です。

当社は、従来から、都市美化推進会社をキャッチフレーズにし、快適で美しい環境づくりを永遠のテーマとして事業活動を進めてきましたが、これを更に環境保全の分野に広め、一層の環境に配慮した事業活動を推進します。

【基本方針】

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した活動に取り組めます。そのために、次項を実行することによって、継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境負荷の低減と環境保全活動への取組

1) 省エネ(電気・化石燃料)推進によるCO₂削減への取組

2) 廃棄物の3R(Reduce/Reuse/Recycle)推進による排出量削減

3) 用水使用量の削減

4) 化学物質(シンナー等)使用量の適正化、及び環境に配慮した施工と完成物件の提供

具体的には、水系塗料の使用比率の向上、循環式エコクリーンブラスト工法による施工の提案、施工を推進します。

2. 環境関連法規制等の遵守

環境関連の法規制等を遵守し、法規制に対し、責任・信頼感のある企業を目指します。

3. 環境コミュニケーションの積極的实施

社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します。

社内においては、全従業員にこの環境方針及び必要事項を周知し、全社員参加による取組を目指します。協力会社従業員にも参加・協力を求めます。

4. 環境経営の継続的改善

上に示した環境経営を継続的に改善していきます。

制 定 2008年7月25日
2次改訂 2010年4月 1日
3次改訂 2020年7月1日

久保田建装株式会社 代表取締役社長 大石 剛





4. 環境経営目標(対基準年度=2019年度)

綱目	単位	基準値	目標		2021年度	2022年度
			%	目標値	目標(%)	目標(%)
購入電力	kWh	58,269	-0.5	57,978	-1	-2
ガソリン使用量	ℓ	50,970	-0.5	50,715	-1	-2
都市ガス使用量	Nm ³	512	-0.5	509	-1	-2
紙使用量	Kg	1,139	-0.5	1,133	-1	-2
水使用量	m ³	292	-0.5	291	-1	-2
環境配慮型施工の推進	-	*****	循環式エコクリーンブラスト工法による施工推進			
産業廃棄物排出量	-	*****	3Rの推進	3Rの推進	3Rの推進	3Rの推進

- ★ 基準年度のCO₂総排出量のうち82%を占めるガソリン使用量は、原単位である平均燃費は18年度18.2(km/ℓ)、基準年度19年度20.49(km/ℓ)と向上しています。13年度より燃費の良いエコカー(=ハイブリッド車)導入を積極的に推進しており基準年度(昨年度)で81%まで高めました。
総量管理(ボリューム)を補完する指標として原単位管理(km/ℓ)や環境効率指標(完成工事高当りの排出量等)による評価を行いながら、あくまで総量を減らす取組み目標を設定します。
同時に、ICT等の導入・活用により、売上に対する走行距離も減らせるよう取組み、指標として管理して参ります。
- ★ 産業廃棄物排出量は、工事の種類による影響が大きく、工事業者が主体的に縮減する余地は少ないので、定量的削減目標は設定できません。要は、工事現場における塗料等の残材を極力抑えるなど排出量の削減に努めることが重要です。
環境方針に掲げた3Rは、これを積極的に推進します。
- ★ '21、'22年度の削減目標は現時点での中期目標です。

20年度CO₂排出量目標=147,872kg-CO₂
(基準年度比0.5%減)

- '20年度のCO₂排出量目標値は上記のとおりですが、CO₂の総量管理の補完として環境効率指標(完成工事高当りの排出量等)による評価も行います。
- ★ 溶剤系塗料から水系塗料への変更や光触媒系塗料、遮熱塗料の採用等により環境に配慮した施工方法と完成物件の提供を進めます。
- ★ 環境方針にグリーン購入の推進を加え、購入の際環境物品等を選択するよう努めます

2020年8月30日 :2020~22年度目標設定

久保田建装株式会社 環境管理責任者

5. 2020年度(2020年7月～2021年6月)環境経営計画

環境目標 (対2019年度)	達成手段	実施責任者	実施担当者	実施スケジュール												
				7月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
CO ₂ 削減 電力の削減 目標(-0.5%)	節電運動推進者	環境管理責任者														
	節電運動展開	各支店長	各事務担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	太陽光活用	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	不要照明消灯	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	自然風取入	〃	〃	→	→	→	→	*	*	*	*	*	→	→	→	→
	エアコン22/28、フィルター洗浄	〃	〃	→	→	→	*	→	→	→	→	→	*	*	*	*
	便座節電	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
ガソリン削減 目標(-0.5%)	燃費向上運動推進者	安全運転管理者														
	ふんわりアクセル	各支店長	各運転者	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	加減速の少ない運転	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	減速時早めにアクセルを離す	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	適切なエアコン使用	〃	〃	→	→	→	*	→	→	→	→	→	*	*	*	*
	無駄なアイドリングはしない	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	目的地までのルートを事前確認し余裕のある運転	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	タイヤ空気圧を月1回スタンドで確認	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	不要な荷物が無いかわり確認	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	違法駐車をしない	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	月末に走行km報告時、レシートで燃費を確認など	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	ICT活用による走行距離の削減	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	都市ガス 目標(-0.5%)	暖房管理推進者	環境管理責任者													
暖房の控え目使用		各支店長	各事務担当	*	*	*	*	→	→	→	→	→	*	*	*	*
紙 目標(-0.5%)	紙使用量削減推進者	環境管理責任者														
	両面印刷の推進	各支店長	各事務担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	裏面の活用	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	コピーミスの防止	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	不要コピーの防止	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	分別による古紙リサイクル	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	使用済み封筒の利用	〃	〃	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
節水 水道水の削減 目標(-0.5%)	節水推進者	環境管理責任者														
	節水呼びかけ	各支店長	各事務担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
環境に配慮した 施工提案・実施	環境配慮型施工の推進	各支店長														
	循環式エコクリーンプラスト工法による施工	〃	各工事担当	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

【重点項目】

- ①電力の削減 福島第一原発事故に端を発する電力需給の逼迫から節電要請が強まっており、本社及び各支店はこれに応えるべく更なる節電に取り組む。
- ②ガソリン削減 事業活動から必然的に車両への負荷が年々大きくなっており、省エネ運転の重要性はますます大きくなっている。省エネ運転の各項目を今一度点検し、運転者各人の省エネ運転の更なる向上を図る。また、ICTを活用して走行距離を減らしていく。
- ③紙使用量削減 特にコピー用紙は毎日かなりの枚数を使用するので日々の積み重ねが大きい。マンネリ化を避け、その都度不要なコピーはないか等をチェックするよう心がける。

初版： 2020年8月30日

久保田建装株式会社 環境管理責任者

6. 環境経営目標の実績

(1)環境目標(対基準年度)及び実施年度実績比

【表 I】

(基準年度=2019年度、実施年度=2020年度)

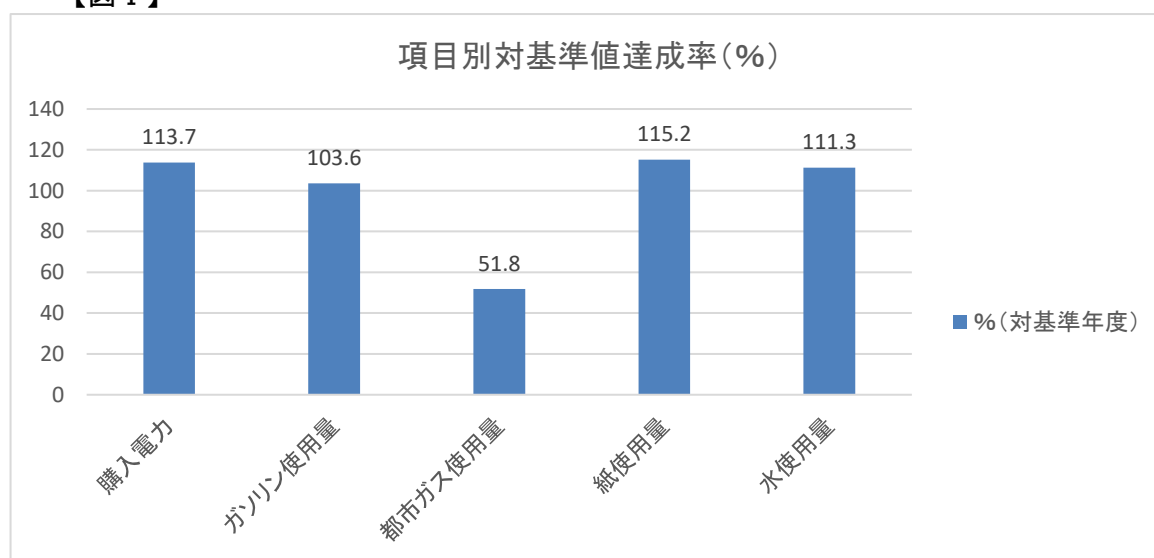
項目	単位	基準値	目標		実績値	達成率 (対基準年度)
			%	目標値		
購入電力	kWh	58,269	-0.5	57,978	66,255	113.7%
ガソリン使用量	ℓ	50,970	-0.5	50,715	52,818	103.6%
都市ガス使用量	Nm ³	512	-0.5	509	265	51.8%
紙使用量	kg	1,139	-0.5	1,133	1,312	115.2%
水使用量	m ³	292	-0.5	291	325	111.3%
廃棄物排出量	-	***	3Rの推進		達成	3Rの推進

上記の【表 I】は、環境目標について項目別に表示したものです。都市ガス使用量は半減を達成しましたが、購入電力、ガソリン使用量、水使用量、紙使用量は目標未達となりました。

ガソリン使用量は、2013年度よりエコカーを積極的に導入(全体の3割・10台)してから、継続して每期導入、今期も2台増えて現状28台、全体の82%がエコカーとなり、原単位(km/ℓ)を低下することができました。

なお、下の【図 I】は【表 I】をグラフ化したものです。各個別項目の環境目標の実績については、以下に順を追って記述します。

【図 I】



①購入電力

実施年度の対基準値達成率は113.7%であり、目標値99.5%に対し14.2ポイント未達成となりました。東京本社104.7%、沼津支店100.1%、浜松支店119%、浜松支店119%、名古屋支店132.1%、そして購入電力量の最も多い本店も120.2%となり、全支店で目標未達成となりました。要因としては、夏場の新型コロナウイルス感染防止対策として、窓を開放して換気を積極的に実施したことにより冷房効率が下がったことに加え、本店1Fにオフィスを増設したことにより購入電力の増加につながったと考えます。

②ガソリン使用量

実施年度のガソリン使用量は基準値比103.6%と目標未達成となりました。

2013年からのエコカー大幅導入により、現状34台の車両数のうち28台がエコカーとなっています。基準年度に対して車両数が2台増え、走行距離も基準年度の総走行距離(871,887km)に対し実施年度は107.5%(936,980km)に増えていることが、目標未達成の要因と考えます。

1台あたりの燃費は向上している為、

今後も買替え時のエコカー導入を進め、日常の省エネ運転を手順書項目毎に徹底し、ソフト面での努力も積み上げていき、目標達成に向け着実に向上していきたいと思えます。

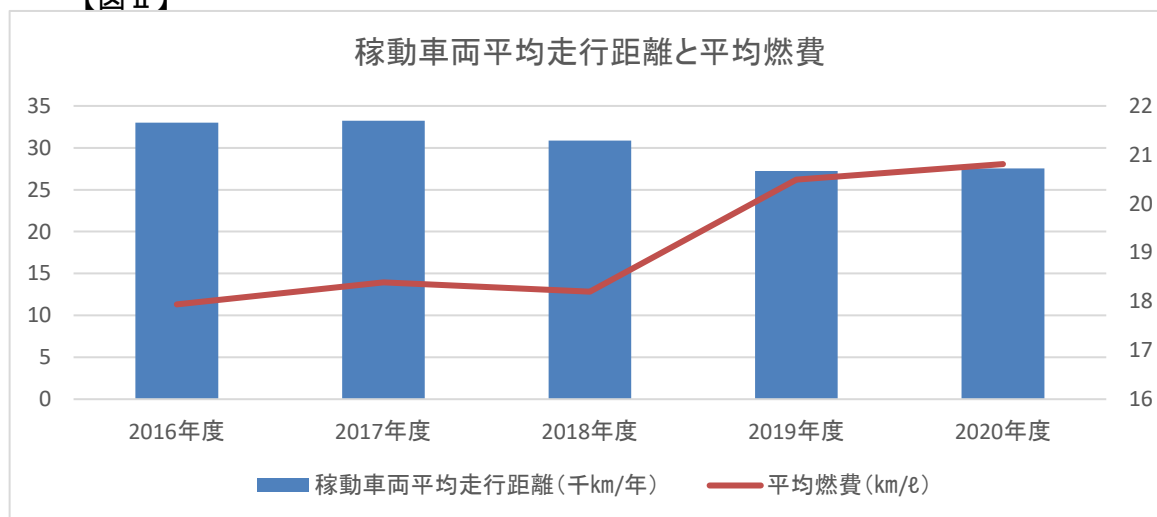
下の【表Ⅱ】及び【図Ⅱ】は稼動車両の平均走行距離と平均燃費の推移を表したものです。

原単位である平均燃費は、着実に向上しています。

【表Ⅱ】

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	基準年度 2019年度	2020年度
稼動車両数	台	33	34	31	32	34
稼動車両平均走行距離	km/年	33,003	33,236	30,873	27,246	27,558
稼動車両平均燃費	km/ℓ	17.94	18.39	18.2	20.49	20.81

【図Ⅱ】



③都市ガス使用量

実施年度の対基準値達成率は51.8%となり、目標達成しました。

達成要因として、2020年は記録的な暖冬により、都市ガス使用量の多くの割合を占めるストーブの使用が少なかったことが挙げられます。

④紙使用量

実施年度の対基準値達成率は115.2%となり、目標に対し未達となりました。

近年、公共工事受注やマンション管理組合への大規模修繕工事提案・報告などで膨大な紙資料を印刷するケースが激増したことが増加要因です。

⑤水使用量

実施年度の対基準値達成率は111.3%であり、目標未達成でした。

主な要因は本店1Fのオフィス増設により蛇口数やトイレが増えたことと、浜松支店で発生した漏水です。

⑥廃棄物排出量

一般廃棄物は、分別による古紙リサイクル等おおむね良好な結果を得ています。

産業廃棄物は、廃棄物の量・種類が工事によって大きく変動し、工事業者が主体的に縮減する余地は少なく、定量的に削減目標を定め評価するのは困難です。

引続き、委託契約書、許可証、マニフェスト等の照合を行い、運搬、中間処理、最終処分が適法であり、資源の再利用等も適正であることを確認しました。

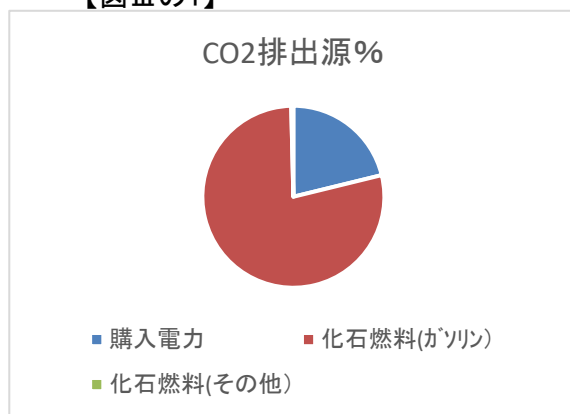
(2) 二酸化炭素削減目標(対基準年度)及び実施年度比

【表Ⅲ】

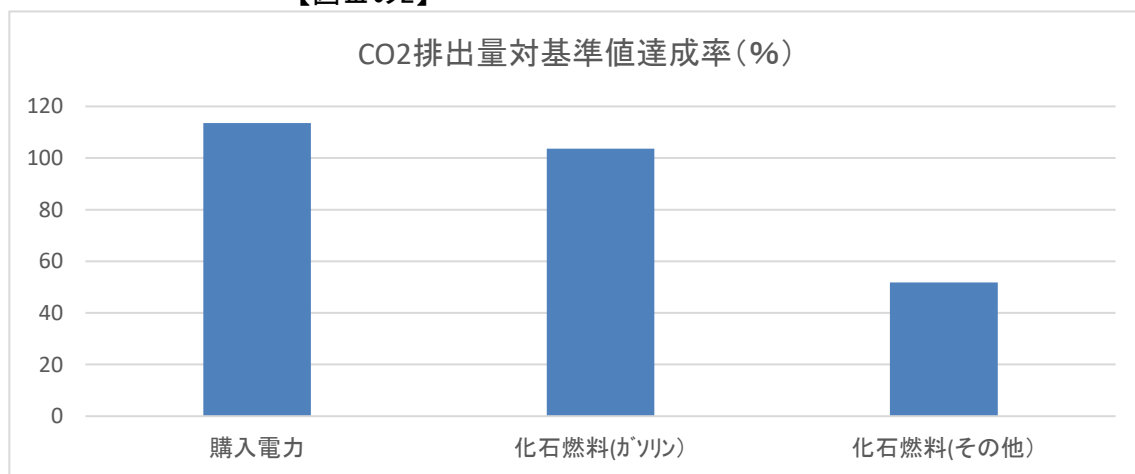
CO ₂ 排出源	単位	基準値			目標値		実績値		達成率 (対基準値%)
		排出量	割合	%	排出量	排出量	割合		
購入電力	kg-CO ₂	29,137	19.6	-0.5	28,991	33,109	21.2	113.6	
化石燃料(ガソリン)	kg-CO ₂	118,334	79.7	-0.5	117,742	122,625	78.4	103.6	
化石燃料(その他)	kg-CO ₂	1,144	0.8	-0.5	1,138	593	0.4	51.8	
合計	kg-CO ₂	148,615	100	-0.5	147,872	156,327	100	105.2	

(注)購入電力の排出係数は環境省発表の平成30年度の電気事業者ごとの実排出係数を採用。
((株)CDエナジーダイレクト⇒0.430 中部電力ミライズ(株)⇒0.452)

【図Ⅲの1】



【図Ⅲの2】



上記の【表Ⅲ】及び【図Ⅲの1】【図Ⅲの2】はCO₂排出源別に基準値、目標値、実績値、達成率を表したものです。これからも分かるように、実施年度のCO₂排出量は105.2%となり、目標に5.7ポイント及ばず、目標達成となりました。
全体の排出量の78.4%を占めるガソリン使用量で4.1ポイント、21.2%を占める購入電力が14.1ポイント及ばずに目標未達成でした。比率は僅かなものの都市ガスでは目標を達成しました。
車両台数が2台増えたことにより総走行距離も長くなり、ガソリン使用の増加につながりましたが燃費は基準年度より向上しています。

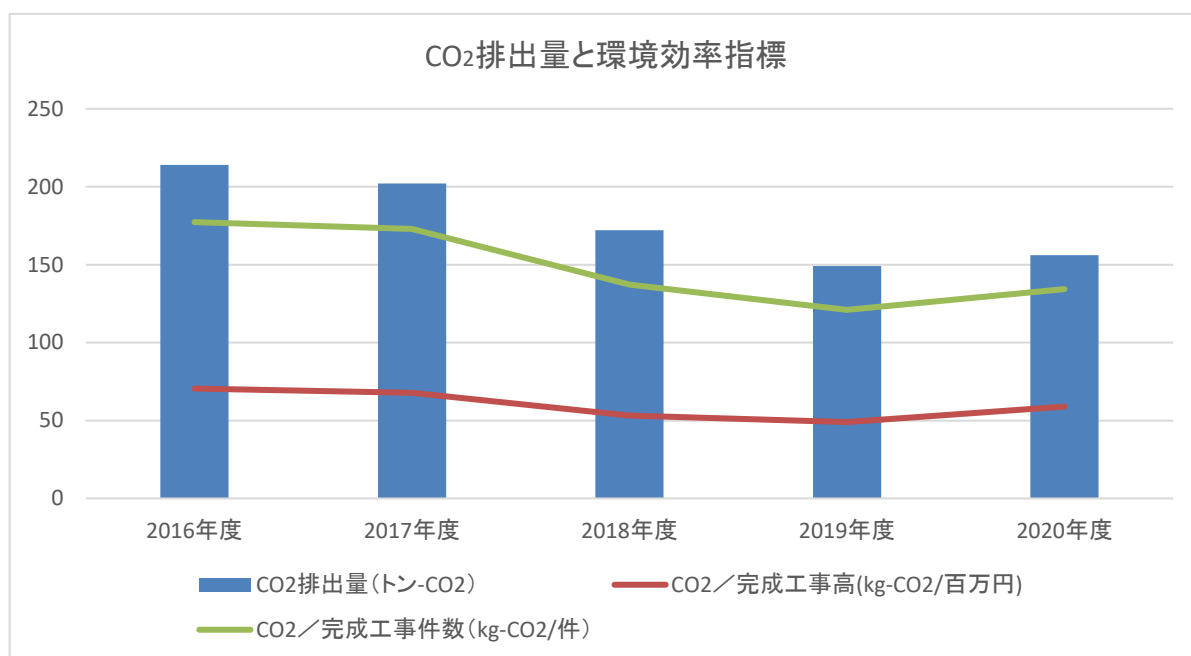
(3) 二酸化炭素排出量と環境効率指標

CO₂排出量は、総量(ボリューム)管理では事業の変動による増減部分と節約行動による部分と区別・評価できないので、環境効率指標を併用するようにしました。下の【表Ⅳ】【図Ⅳ】は環境効率指標の推移を表したものです。

【表Ⅳ】

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	214,391	202,291	171,873	148,615	156,327
人員	人	45	44	41	43	44
完成工事高	百万円	3,043	3,052	3,239	3,052	2,651
完成工事件数	件	1,209	1,169	1,253	1,228	1,164
CO ₂ /人員	kg-CO ₂ /人	4,764	4,598	4,192	3,456	3,553
CO ₂ /完成工事高	kg-CO ₂ /百万円	70.5	67.8	53.1	49	59
CO ₂ /完成工事件数	kg-CO ₂ /件	177.3	173	137.2	121	134.3

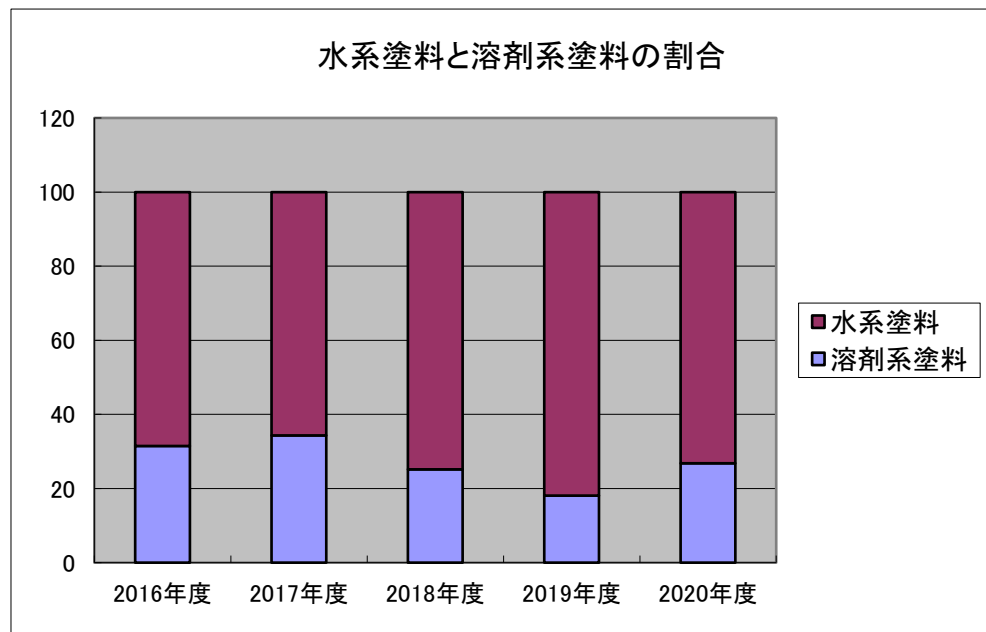
【図Ⅳ】



(4)環境に配慮した施工方法と完成物件の提供

予てよりモニタリングしていた光触媒施工については、実績が減少していき2019年度には実績0となりました。また、遮熱塗料施工についても、2017年度がピークでその後は減少傾向にあり、加えて遮熱塗料は色目によって、暗色では効果が期待できなかつたり、遮熱と謳っていない通常の塗料でも白色では同等の効果が期待できる施工結果もある為、新たに、環境に配慮した施工として「循環型エコブラスト工法工事」の動向をモニターしていくことを決定しました。

年度	塗料使用割合		環境に配慮した施工方法の件数及び金額
	溶剤系塗料 (%)	水系塗料 (%)	循環型エコブラスト工法工事
			件数
2016	31.5	68.5	-
2017	34.3	65.7	-
2018	25.2	74.8	-
2019	18.1	81.9	-
2020	26.8	73.2	2



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画(CO ₂ -6% の達成手段)	取組み結果とその評価		次年度の取組内容
	評価	取組結果	
【購入電力】		実施責任者⇒環境管理責任者・支店長、実施担当者⇒各事務担当者	
節電運動展開	2.9	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 評価としては全ての項目で“良好”でした。	・エアコン22/28の徹底。 ・太陽光活用。 ・不要照明の消灯。 ・自然風取入。
太陽光活用	2.9		
不要照明消灯	3		
自然風取入	2.9		
エアコン22/28、フィルター洗浄	2.7		
便座節電	2.9		
【ガソリン使用量】		実施責任者⇒安全運転管理者・支店長、実施担当者⇒各運転者	
ふんわりアクセル	2.7	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 適切なエアコン使用、タイヤ空気圧を月1回スタンドで確認については概ね良好(2)の自己評価が散見されましたが、ほかの項目においては良好(3)の自己評価となりました。 原単位(燃費)としては、20.49km/ℓから20.81km/ℓへと0.32km/ℓ基準値に対して向上しました。	・車両負荷の増大につれ、ますます省エネ運転は重要になるので、運転者各人に対しこの点の自覚を求め、更なる省エネ運転の浸透を図る。 ・車両入替時においては省エネ投資(エコカーの導入)を積極的に推進する。 各自の努力目標を次年度も設定して頂き、実績を四半期ごとに報告、モチベーションを維持していきたい。
加減速の少ない運転	2.9		
減速時早めにアクセルを離す	2.9		
適切なエアコン使用	2.6		
無駄なアイドリングはしない	2.9		
目的地までのルートを事前確認し余裕のある運転	2.9		
タイヤ空気圧を月1回スタンドで確認	2.6		
不要な荷物が無いか週1回確認	2.7		
違法駐車をしない	3		
月末に走行km報告時、レシートで燃費を確認など	2.8		
ICT活用による走行距離の削減	2.7		
【都市ガス使用量】		実施責任者⇒環境管理責任者・支店長、実施担当者⇒事務担当者	
暖房の控え目使用	2.9	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 寮設備としての使用がありましたが、都市ガスの対基準値達成率は51.8%(目標値99.5%)と達成しました。	・節電の代替暖房の許容範囲を超えないようにしたい。
【紙使用量】		実施責任者⇒環境管理責任者・支店長、実施担当者⇒事務担当者	
両面印刷の推進	2.8	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 コピーミスの防止と不要コピーの防止に概ね良好(2)の評価があり、紙使用量の対基準年度達成率は115.2%で、目標未達となりました。	・コピーミスの防止。 ・不要コピーの防止。
裏面の活用	2.9		
コピーミスの防止	2.6		
不要コピーの防止	2.6		
分別による古紙リサイクル	3		
使用済み封筒の利用	2.9		
【水使用量】		実施責任者⇒環境管理責任者・支店長、実施担当者⇒事務担当者	
節水呼びかけ	2.7	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 水使用量の多い本店は、1Fオフィス化という要因があり、水使用量の対基準年度達成率は111.3%と、目標未達成となりました。	・水道設備の定期点検(2回/年)の実施。
【環境に配慮した 施工提案・実施】		実施責任者⇒環境管理責任者・支店長、実施担当者⇒営業担当者	
水系塗料の推進	2.8	環境活動チェックシートから平均的な評価点は左記のようになります。 今期から循環式エコクリーンプラスト工法による施工提案を積極的に推進しています。	引き続き環境配慮型施工提案の励行。
循環式エコクリーンプラスト工法による施工	1.6		

(注)評価項目の評価 不十分⇒1 おおむね良好⇒2 良好⇒3

●次の13ページに環境目標の取組状況を記載しました。

環境経営目標の取組状

(2020年7月～2021年6月)

綱 目	実施日	取 組 内 容	担当者他
イベント参加	2020/8/7	静岡県主催の「打ち水大作戦！」に参加	全 員
セミナー受講	2020/9/2	エコアクション21ガイドライン2017年度版に関するフォローアップセミナー	環境管理責任者
グリーン(省エネ車)購入	20/10/5	トヨタ プリウス(ハイブリッド車)	社 長(決裁) 総務部(管理)
ウォームビズ実施	20/12/15～	各自治体の呼掛けに応じ実施	全 員
実地確認	2020/12/17	産業廃棄物業者への実地確認	環境管理責任者
グリーン(省エネ車)購入	21/3/29	トヨタ プリウス(ハイブリッド車)	社 長(決裁) 総務部(管理)
エコ21登録更新審査	2021/4/19	審査人により更新審査を受ける	関係者全員
クールビズ実施	21/5/1～	各自治体の呼掛けに応じ実施	全 員

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を下記により確認した結果、全て適法に行っており違反はありませんでした。

【廃棄物処理法】

- ①委託契約の確認 産業廃棄物処理委託契約書(処分用)、産業廃棄物処理委託契約(収集運搬用)等について、事業所責任者及び工事担当者により確認。
- ②委託先の許可証の確認 産業廃棄物処分業許可証について、事業所責任者及び工事担当者により確認。
- ③処分場の確認 産業廃棄物積替・保管施設、産業廃棄物中間処理施設(廃プラスチック、金属くず、木くず、コンクリート等の破碎、圧縮、切断)、産業廃棄物最終処分場等について、それぞれ適正に処理されていることを確認。
- ④マニフェストの確認 受理したマニフェストについて、各事業所責任者及び工事担当者により、廃棄物が発生した都度適正に処理されていることを確認。
- ⑤マニフェストの交付状況報告 毎年6月30日までに前年度(4月～3月)のマニフェスト交付状況を工事担当者から都道府県知事などに適正に報告されているかを確認。

【自動車リサイクル法】

- ①該当車両はない。

【フロン排出抑制法】

- ①第1種特定製品の簡易点検表にて年4回の点検を実施している。

【浄化槽法】

- ①浄化槽保守点検記録表及び浄化槽清掃完了届にて沼津支店事業所責任者により確認。

【労働安全衛生法】

- ①屋内やタンク内面等における有機溶剤系塗料の塗装工事については、排気・換気装置の設置、粉じん・防毒マスクの着用等を実行している。
- ②工事担当者は下請業者を含めて全員について有機溶剤法定健康診断を実施している。

【騒音規制法】

- ①低騒音の空気圧縮機等により、本法及び条例等に定める指定区域毎・時間帯毎に定められた規制基準以下を遵守している。

【悪臭防止法】

- ①臭気の著しい塗料を使用しない等、本法及び条例等の基準を守っている。

【建設リサイクル法等その他】

- ①建設リサイクル法 元請業者として本法の適用となる規模以上の該当工事はない。
- ②PRTR法 取扱業者に該当しないが、本法適用の指定化学物質を含むシンナーや有機塗料を使用しているので、SDSを受理し適正に取り扱っている。
- ③消防法 本法及び条例等の指定数量以上の取扱いはない。

(2) 訴訟等の有無

過去3年間に於いて関係機関からの指摘、利害関係者等からの訴訟はありませんでした。

2020年10月2日
久保田建装株式会社 環境管理責任者

9.代表者による全体評価と見直し・指示

昨今の環境に対する取組みは、SDGs などにも見られるように世界的規模でその重要性は高まっており、私たちも家庭や会社において省エネ活動を実践し、社会人、企業人としての役割を果たしていきたいと思えます。

さて、2020年度のEA21活動は、取組から13年が経過し、年々改善が進んだことにより、目標の設定や達成の難易度が高まってまいりました。そのような状況の中で、2020年度より対基準年度を2015年度から2019年度に変更すると同時に、新たな取り組みとして環境に配慮した施工の柱となる、循環式エコクリーンブラスト工法を積極的に提案・施工していくよう指示しました。

これにより、従来の工法で排出していた産業廃棄物や負荷物質量を大幅に削減することが可能となり、私達を取りまく環境の保全に大きく貢献できると期待しています。

一方、2020年度もコロナ禍における影響を大きく受け、都市ガス以外のエネルギー使用量で目標未達となりました。特に夏場の電力使用量については、換気をしながらのエアコン使用が冷房効率を下げ、結果、電力使用量の増加につながりました。

都市ガス使用量においては、対基準年度51.8%（目標99.5%）と大きく目標を達成しました。

都市ガスの用途は主に暖房設備の為、2020年度は暖冬であった事が目標達成の要因です。

また、ガソリン使用量については対基準年度103.6%（目標99.5%）と目標未達ではありましたが、未達要因として総走行距離が増えている事があげられ、車一台あたりの燃費で見ると対基準年度98.4%に抑えられており、2014年度から会社内部環境コミュニケーションの一環として実施している、省エネ運転の手順書を基に重点行動を各個人に申告して目標燃費を定める取組が着実に成果を上げています。

2021年度以降もこの取組を継続し、目標達成に向けて進捗状況を四半期毎に報告、PDCAサイクルを継続していきましょう。

産業廃棄物の環境法規制については、委託先との文書、処分場等の検証を行い、当然のことながら違反がないことを確認しました。この種の取組は、法令順守の立場から怠ってはならないことであり、当社に関連する他の環境関連法規等についても、各種環境におけるリスク管理、教育、事前打合わせ等を徹底し、引き続き法令違反や事故が無いようにしていきます。

2020年度の活動について上記に状況を詳述しましたが、内部環境コミュニケーションを充実させ、環境活動計画の各取組項目を徹底すれば、現状の環境方針・環境活動計画・環境経営システムは十分有効です。今期の方針・活動計画・経営システムについては来期も適用致します。来年度（2021年度）も、従来の経験と実績を基に目標達成に向かって努力していきましょう。

2021年10月13日

久保田建装株式会社

代表取締役社長 大石 剛

